

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラムポスター一覧

登録番号	担当部署	募集人数	テーマ
1801-本01	地球環境部 防災グループ	1	仙台防災枠組を踏まえた防災の主流化に関する取り纏め、及び分析・考察
1801-本02	産業開発・公共政策部 民間セクターグループ第一チーム	3	最新のテクノロジー（AI、IOT、ブロックチェーン等）を活用した途上国開発の情報収集・発信及び新たな取組の検討・提案
1801-本03	産業開発・公共政策部 資源・エネルギーグループ	2	電力・エネルギー分野における国際協力に関する情報収集／同分野におけるJICA事業に係る各種補助業務
1801-本04	国際協力人材部 人材養成課	1	能力強化研修の準備・運営補助
1801-本05	国際協力人材部 人材養成課	1	国際協力人材向けの研修運営及び質の向上のための改善策の提案
1801-本06	国際協力人材部 人材養成課	2	国際協力キャリア総合情報サイト「PARTNER」関連イベント、広報業務補佐
1801-本07	評価部 事業評価第二課	1	事業評価におけるプロセスの分析
1801-本08	社会基盤・平和構築部 都市・地域開発グループ	1	開発途上国におけるまちづくり（都市開発・都市交通）

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1801一本01
■部署名/事務所名：	地球環境部	■募集人数 (人)	1
■課名/プロジェクト名：	防災グループ		
■テーマ			
仙台防災枠組を踏まえた防災の主流化に関する取り纏め、及び分析・考察			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
2015年に仙台市で開催された第3回国連防災世界会議において、今後の国際的な防災の指針である「仙台防災枠組2015-2030」が国連加盟186ヶ国によって採択された。日本政府は同枠組採択の準備段階において、日本がこれまで行ってきた災害の経験をインプットしており、その中の1つが「防災の主流化」である。防災の主流化は大きく分けて3つの要素から成り、①防災が国の重要課題として広く認識され、②あらゆるセクターに防災の視点が含められ、③防災事業へ割り当てられる予算が増加することを指す。日本政府は同会議において、各国における防災の主流化の重要性を訴えており、防災分野の国際協力を実施するODA実施機関であるJICAへの期待は大きい。			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>1. 日本における防災の主流化の事例の継続的なレビューを支援する。道路、橋梁、港湾、空港、鉄道、電力等、インフラ分野における防災の主流化事例をインターン期間で分析することを期待したいが、上記事例以外の教育、保健医療等の分野でも歓迎する（具体的なテーマはインターン勤務開始後に決定予定）。</p> <p>2. JICAが参加する国内外の防災関連イベントの準備作業（講演を想定した関連データの収集、関連するJICA事業実績の取り纏め、展示物の作成等）を行う。</p> <p>3. 受入担当部署の指示のもとで、JICAが実施してきた防災に関連する協力実績の取り纏め、各種広報ツール作成等の業務補助を行う。</p>			
■参考情報			
JICAの防災分野における取り組みについて https://www.jica.go.jp/activities/issues/disaster/index.html			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
防災の日（9月1日）前後に開催されるイベント、JICAが行う研修員受入事業、招聘事業等への同行。			
■受入時期・期間			
2018年8月 から 10月 までの 2ヶ月間程度 理由：			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
大学生と大学院生の受入可			
■応募資格以外に受入に必要な要件			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項): _____			
■備考・留意点			

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1801一本02
■部署名/事務所名:	産業開発・公共政策部	■募集人数 (人)	3
■課名/プロジェクト名:	民間セクターグループ第一チーム		
■テーマ			
最新のテクノロジー（AI、IoT、ブロックチェーン等）を活用した途上国開発の情報収集・発信及び新たな取組の検討・提案			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>昨今、「人工知能（AI）」、「モノのインターネット（IoT）」、「ブロックチェーン」等、最新のテクノロジーの急速な発展により、世界各国の産業は大きな変革点を迎えている。これら最新のテクノロジーによる産業の変革・イノベーションは、アメリカや日本などの先進国だけでなく、開発途上国においても取組が進みつつある。また、アフリカやアジアなどの発展途上国では、携帯電話が急速に普及したことにより、モバイル決済等フィンテックの分野においても、先進的な取り組みが行われている。JICAが実施する発展途上国に対する協力についても、最新のデジタル技術やテクノロジーを活用する事により、段階的なステップを飛び越えた発展（蛙飛び：Leap Frog）を目指した協力を実施していく事が必要不可欠となっている。上記の背景を踏まえ、本インターンシップでは、最新のテクノロジーを活用した国際協力の事例に関する情報収集・発信を行うと共に、今後の新たな取組の可能性について、JICA職員と協力して検討・提案し、アイデアの実現に向けた活動を行うものである。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>活動内容例：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産業振興政策・投資環境改善・現地企業の生産性向上にデジタル技術・テクノロジーを活用した事例収集（例：「Thailand 4.0」、ルワンダのICT政策等） ・ 最新のデジタル技術・テクノロジー（AI、IoT、ブロックチェーン等）を活用した国際機関や民間企業・スタートアップ、NPO/NGOの途上国開発事例収集（例：UNICEF、WFP、UNOPS等） ・ 国内外のイノベティブな企業（起業）家育成の取り組み事例の収集 ・ 最新のデジタル技術・テクノロジーに関連した資料（日本語・英語）の分析 ・ 上記でとりまとめた情報の発信 ・ 新たな取組に関する検討・提案及び関係者との意見交換（外部機関・企業も含む） ・ その他、上記の活動を踏まえた上での必要な活動 <p>※上記活動について、チームで活動することを想定。</p>			
■参考情報			
■参加（同行）可能な行事・視察等			
要検討			
■受入時期・期間			
2018年7月から9月までの2～3ヶ月間程度（週2日以上から相談可能）			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人全て可		最新のテクノロジーに関する知識もしくは興味・関心	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他（提供可能な事項）： _____			
■備考・留意点			
事務スペースについては、今後調整予定ですが、場合によっては特定の事務スペースではなく、フリーアドレスとなる可能性が有ります。			

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1801一本03
■部署名/事務所名：	産業開発・公共政策部	■募集人数 (人)	2
■課名/プロジェクト名：	資源・エネルギーグループ		
■テーマ			
電力・エネルギー分野における国際協力に関する情報収集／同分野におけるJICA事業に係る各種補助業務			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>社会経済の発展に不可欠なエネルギー。持続的社会的の実現に向けて、安定的且つ低廉、環境負荷の低いエネルギーを途上国パートナーが如何に確保するか？国際社会は如何にそれを支援出来るのか？JICA資源・エネルギーグループ（資・EG）が考え続けている大きなテーマです。</p> <p>本インターンには、電力・エネルギー分野における国際協力に関して、本人の関心及び業務上の必要性を勘案の上でテーマを特定した上で、関連情報の収集・分析を行い、JICAスタッフ等とのディスカッションを通して報告書を取りまとめていただくことを想定しています。（テーマ例：再生可能エネルギー分野のドナー動向、各ドナーの電力セクター支援方針・戦略、日本のエネルギー・電力政策との比較、etc）</p> <p>また、資・EGが実施している電力・エネルギー分野での事業に関して、資料整理や簡易な文書作成、JICA内勉強会の運営補助等、補助的な業務を行うとともに、JICAが開発途上国の能力強化の一環として実施している各種研修への同行、関係者との打合せへの同席等を通じ、電力・エネルギー分野におけるJICA事業の全体像について理解を深められるよう配慮しています。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電力・エネルギー分野における国際協力等に関する情報収集・分析（インターネットでの公開情報、JICA資源・エネルギーグループが保有する各種資料、JICA図書館に所蔵の資料等） ・ 上記収集情報の整理及び報告会でのプレゼンテーション資料の作成、プレゼンテーションの実施。 ・ 上記収集情報に係るレポートの作成。 ・ 電力・エネルギー分野におけるJICA事業の実施に関する資料整理（JICA事業に係る広報資料の作成等を含む）等補助業務。 ・ JICA内部での電力・エネルギー分野に関する勉強会及び各種会議の運営に係る補助業務。 ・ 本邦研修への同行及びJICA事業関係者との打合せへの同席。 ・ 『資源の絆』プログラムに関する実施補助。 			
■参考情報			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
上記JICA研修での電力設備視察や各種会議、イベント等への同行等。			
■受入時期・期間			
2018年7月から12月 までの1～3ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入に必要な要件			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項)： _____			
■備考・留意点			

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1801一本04
■部署名/事務所名:	国際協力人材部	■募集人数 (人)	1
■課名/プロジェクト名:	人材養成課		
■テーマ			
能力強化研修の準備・運営補助			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>能力強化研修は、JICAが行っている協力の重点分野および新しい開発課題を中心に、国際協力の現場で必要となる知識やスキルの向上を目的とした、開発コンサルタント、NGO/NPO職員、有識者等JICA外部人材向けの短期研修です。研修受講者は、主に各種JICA事業に携わる人材としての研修成果の活用が期待されています。</p> <p>(能力強化研修website) https://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>インターンは、能力強化研修の総括職員及び各コース担当（人材養成課員）の監督のもと、コースの準備・運営業務を補助します。</p> <p>(具体的業務) ・研修内容の企画 ・受講者の募集・選考手続き ・研修運営に必要な準備作業（資料準備等） ・研修運営中の補助（講師や運営担当職員の支援、資料準備、設営補助等） ・研修終了後の内容の評価 主に上記業務の補助を、人材養成課職員の監督のもとで行います。</p>			
■参考情報			
https://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
担当する能力強化研修の実施現場。			
■受入時期・期間			
2018年7月下旬 から 2019年3月 までの 1ヶ月間程度			
<input type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由: 受け入れ希望時期は特になし。受け入れた時期に応じて適切な研修コースを割り当てる。(ただし、1ヶ月程度のインターンシップ期間を求める)			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人全て可		特になし	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
特になし			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項):			
■備考・留意点			
<p>研修の準備・運営は、国際協力人材部だけではなく、各分野課題を担当しているJICA本部の各部署と連携して行われます。</p> <p>PC操作、資料作成等の事務的作業が多くあります。</p>			

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1801一本05
■部署名/事務所名：	国際協力人材部	■募集人数 (人)	1
■課名/プロジェクト名：	人材養成課		
■テーマ			
国際協力人材向けの研修運営及び質の向上のための改善策の提案			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>国際協力人材部で実施する国際協力人材赴任前研修は、開発途上国のプロジェクト等に派遣される予定の専門家等が赴任する国での業務を、より効果的・効率的に遂行するために資するものとして実施しています。JICA事業の動向やJICA専門家等としての業務の進め方など、専門家として派遣される前に理解してもらう事項を、2週間の研修として提供しています。</p> <p>今般、インターンには、毎月行っているこの研修に関する過去のアンケートを分析し、研修をモニタリング、また関係者からのヒアリング等を受け、さらなる研修の質の向上に資するための改善策を提案してもらいます。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1 過去の研修アンケートの分析 2 研修の全講義のモニタリング 3 研修関係者（研修担当者、研修管理室、講師、受講生等）へのヒアリング等 4 評価会への参加 5 研修の様々な側面にかかる課題の抽出 6 研修の質の向上に向けた改善策の提案 			
■参考情報			
https://www.jica.go.jp/recruit/pretraining/			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
国際協力人材赴任前研修			
■受入時期・期間			
2018年7月下旬 から 2019年3月 までの 1ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：受け入れ希望時期は特になし。受け入れた時期に応じた赴任前研修の回を聴講いただく。（ただし、1ヶ月程度のインターンシップ期間を求める）			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人全て可		特になし	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
特になし			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項):			
■備考・留意点			

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1801一本06
■部署名/事務所名：	国際協力人材部	■募集人数 (人)	2
■課名/プロジェクト名：	人材養成課		
■テーマ			
国際協力キャリア総合情報サイト「PARTNER」関連イベント、広報業務補佐			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>国際協力人材部人材養成課では、幅広い世代の方々に国際協力について関心を持ってもらい将来の国際協力人材を養成するため、PARTNERの運営や様々なイベント・セミナーを開催しています。PARTNERでは、国際協力業界のキャリアに係る情報や求人情報等、国際協力業界に関する総合的な情報を掲載しています。</p> <p>インターンには、各種イベント・セミナーの業務補佐や、PARTNER運営・広報業務を担当していただきます。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>以下の事業において、担当スタッフと共に、企画・運営・実施等を担当します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 若年層向け広報施策に係る情報収集・企画・実施。具体的には、PARTNER学生向けコンテンツの拡充、学生配布用チラシの作成 2. 国際協カイベント（国際協力人材セミナー、グローバルフェスタJAPAN2017、JOBセミナー）の企画・ブース運営 3. PARTNERソーシャルメディアアカウント（Facebook）の発信補佐 			
■参考情報			
http://partner.jica.go.jp/PartnerHome			
■参加（同行）可能な行事・視察等			
JOBセミナー（8月）、グローバルフェスタJAPAN（10月）等			
■受入時期・期間			
2018年7月下旬 から 2019年3月 までの 1-2ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入に必要な要件			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他（提供可能な事項）： _____			
■備考・留意点			

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1801一本07
■部署名/事務所名：	評価部	■募集人数 (人)	1
■課名/プロジェクト名：	事業評価第二課		
■テーマ			
事業評価におけるプロセスの分析			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>JICAは、実施した事業を評価することにより、日本国民や相手国関係者等への説明責任を果たすとともに評価結果のフィードバックを通じた事業の改善を図っている。評価部では、事業評価の戦略性強化のため、2016年度より事業の実施過程に着目した分析（プロセスの分析）を試行しており、既にインド鉄道とケニア保健の2件について分析完了済である。</p> <p>本分析では、JICAが基本としている妥当性や有効性などの観点からの事業評価を補完し、事業効果がどのように発現したか/しなかったか（How）、なぜか（Why）を明らかにする。エスノグラフィーやプログラム評価など様々な手法を用いて事業プロセスを深く掘り下げ分析することで、開発実務者に向けた実践的な教訓・提言を引き出し、事業スケールアップのための根拠（エビデンス）を得ている。</p> <p>こうした分析の成果はケーススタディとして取りまとめ、JICA内での活用に留まらずウェブサイトで公開して開発実務者や研究者・学生にも活用されている。更に、世界銀行との「事業実施上の問題点」を探る国際的な協働作業を通じて対外発信も行っている。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>①国際開発事業に関するケーススタディの情報収集、文献分析 プロセスの分析の更なる質の向上のため、国内外の大学・大学院、他の開発協力機関や研究所等で作成・活用されている国際開発事業に関するケーススタディについて情報収集し、分野課題や手法等を整理した分析結果をレポートに取りまとめる。</p> <p>②プロセスの分析に係る業務補佐 JICA評価部が今後分析を行う事業（複数予定あり）に関し、関連情報の収集・整理等を補佐する。なお、担当する事業は、インターンの専門分野や関心等を考慮のうえ決定する。</p> <p>③その他 事業評価に関する各種業務（データ整理等）。</p>			
■参考情報			
https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/process.html https://www.jica.go.jp/english/our_work/evaluation/process.html http://www.globaldeliveryinitiative.org/			
■参加（同行）可能な行事・視察等			
■受入時期・期間			
2018年7月から9月までの3ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生ともに可			
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 <input type="checkbox"/> その他（提供可能な事項）：			
■備考・留意点			

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1801一本08
■部署名/事務所名:	社会基盤・平和構築部	■募集人数 (人)	1名
■課名/プロジェクト名:	都市・地域開発グループ		
■テーマ			
開発途上国におけるまちづくり（都市開発・都市交通）			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>急速な都市化が世界的に進展している。都市への人口集中は開発途上国を中心に今後さらに加速し、2050年には地球上の人口に占める都市人口の割合は70%近くに達する見込みである。都市は世界の陸地面積の2%を占めるに過ぎないが、54%の人口が集まり、GDPの80%以上を産出している。同時に、エネルギーの60-80%を消費し、温室効果ガスの75%を排出している。かくも高度な集積状態がかつてない速度で形成されてきたことで、インフラサービスの供給不足、慢性的な交通渋滞、貧富の拡大、環境汚染、災害への脆弱性など多くの都市問題が顕在化している。加えて、開発途上国・新興国においても、今後、高齢化への対応など、新たなまちづくりのニーズが議論されるようになってきている。</p> <p>JICAでは、都市開発・都市交通分野の協力の中で、開発途上国の新しいニーズに対応した「まちづくり」の協力を展開していく方針であり、今後の協力に向けた新しいテーマ（①高齢化に対応したまちづくり、②地域コミュニティを起点としたまちづくり、③安全・安心なまちづくり等）について、情報収集・整理を行う。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>今回募集するインターンは、上記の背景を踏まえ、自身の関心・経験を踏まえて以下①～④のテーマのうち1つを選び、以下1)～4)の業務を行う。</p> <p>（想定されるテーマ）</p> <p>①高齢化に対応したまちづくり（歩きたくなる都市・歩きやすい都市のあり方、自動車に頼らずとも公共交通機関で目的地にアクセスできる都市構造の構築など、健康を支える都市環境の整備なども含む）</p> <p>②地域コミュニティを起点としたまちづくり（対象となる地域コミュニティの特徴・魅力を活かしたボトムアップ型のコミュニティデザインなども含む）</p> <p>③安全・安心なまちづくり（犯罪を寄せ付けないコミュニティ重視型のまちづくりなどを含む）</p> <p>④その他、開発途上国・新興国において重要となると自身が考える「まちづくり」に関するテーマ</p> <p>（活動内容）</p> <p>1) 選択したテーマに関する日本や世界の事例・政策に関する情報収集</p> <p>2) 選択テーマに関連した開発途上国・新興国の状況、まちづくりに与える影響等に関する情報収集</p> <p>3) 開発途上国・新興国の選択テーマに関するニーズの取りまとめ</p> <p>4) 上記の結果をパワーポイントを使用し、プレゼンテーション用に取りまとめる。</p>			
■参考情報			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
インターン時期に予定されている視察・会議があれば相談の上、参加・同行が可能。（例：東京近辺の施工現場の視察、研修員受入事業の受入先への訪問、修了式への出席、各種会議への出席等）			
■受入時期・期間			
2019年1月 から 3月 までの 2ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人全て可		都市開発、都市計画、都市交通	
■応募資格以外に受入に必要な要件			
<p>パソコン入力（ワード、エクセル、パワーポイント）の基本的操作技術を有すること。</p> <p>また、以下の条件はあれば望ましいが、無くても可。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 途上国での勤務や国際協力事業に関与（大学における研修員受け入れ等）した経験。 ・ 英語力（TOEIC730点 TOEFL550点(CBT2134点, iBT79点), IELTS6.0以上、英検準1級、国連英検B級以上）。 			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項):			
■備考・留意点			